



めいぶんげい NEWS

明石文化芸術創生財団

アートリレー寄稿

“明石の文化芸術”についての感想、意見、提言、活動の紹介などをリレー方式で紹介していきます。

「絵本と環境 ～明石からグローバルに～」

②④環境カウンセラー 西谷 寛(にしたに ひろし) ← (②③画家 坪谷 令子)

はじめまして 西谷寛と申します。1956年明石生まれの明石育ち、朝霧東町に住んでいます。リレーバトンを錦江幼稚園の川上園長が繋いでくださいました。私が錦江幼稚園に通っていた約50年前は、生家の近くの朝霧川にゲンジボタルがいて、家族でホタル狩りをした原風景が脳裏に焼き付いています。朝霧川でメダカやドジョウを獲り、朝霧町周辺の野山でチョウ、トンボやセミ、クワガタムシ、キリギリスを獲り、明石の海岸でイソガニを捕まえ朝霧川河口部で良く釣りをしました。芸術とは縁遠い生活ですが自然の中で遊び、元気に育ちました。現在、朝霧川を昔のような多自然な都市河川に少しでも再生するための「朝霧男盛会」という活動をしています。

こんな私ですが約6年前、絵本を出版しました。

「海と空の約束」

私が書いた童話を神戸市在住のイラストレーター有村綾さんと二人で1年かけて絵本にして出版しました。きっかけは25年ほど前に保育園に通っていた娘たちに読み聞かせたくて、いくつかの素人童話を綴ったことがスタートです。長い歳月を経て出版できて嬉しいです。書店にも並んでいます。

絵本は、私が幼ない頃に遊んだ明石や神戸の海や川や里山、自然の営み、自然界の自浄作用、環境問題がテーマです。

大学時代、海の生物や環境について学びました。瀬戸内海の小島や屋久島の近くの離島で、魚類や海洋生物の観察、研究をしていたことがあります。島の暮らしは経済的には厳しいですが豊かです。大自然の営みに緊張と畏敬の念を抱きながらもゆったりと時間の流れる「足るを知る人間らしい暮らし」を体験しました。

気候変動、生物多様性、3R、原発問題、水の循環、地球環境や地球の将来の危機が叫ばれて久しいですが、少しでも環境問題の解決に役立つよう行動を始めようと、絵本「海と空の約束」を紙芝居にして子供たちと一緒に自然の営みや私たちの暮らしの繋がりを一緒に考え学ぶ活動「海と空の約束プロジェクト」を始めました。明石の子ども図書館、図書館、小学校、幼稚園、明石浦漁協即売会、天文科学館、明石公園、須磨水族館、海遊館はじめ様々な場所で子供たちや大人を対象にした紙芝居や環境学習会を休日に行っています。絵本は児童文学としての評価よりも、「環境問題を学ぶ教材」としての評価を頂き、「国連生物多様性の10年日本委員会」推薦の児童向け推薦図書に選ばれ、活動も全国対象の「生物多様性アクション大賞2014」の「審査員賞」を頂きました。これからも焦らず慌てず諦めずコツコツ地道な活動を継続していこうと思っています。



(写真: 明石子ども図書館での紙芝居と原画展)



(錦江幼稚園での紙芝居)

錦江幼稚園でも、2014年7月に園児たちや保護者の皆さんに紙芝居や環境のお話をさせて頂きました。母校を訪ねることができて嬉しいです。明石や神戸、三木、西脇、淡路の図書館や市立図書館、保育園や児童館やJALの機内にも絵本を置いています。機会がございましたら手にとってご覧ください。紙芝居(A1・A2・B4サイズ)も無料で貸し出しをしています。スケジュールが合いましたら紙芝居おじさんで出かけます。是

非、お声掛けください。

これから発展する国々では圧倒的に教材や教育機会が不足しています。友人たちが英語、中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、クメール語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語に翻訳してくれ、JICAや国際NGOオイスカ、大学生やNPOを通じて少しずつですが、アジアやアフリカの海外の子供たちの施設などにプレゼントしたり教材として使って頂いています。

子供たちに絵本や紙芝居からメッセージが届けば本望です。

(海と空の約束プロジェクトHP 海空プロジェクト→[検索](#))



(小学校での超大型紙芝居)



(ケニアの小学校にて)



(インドネシアの環境保全活動)



(カンボジアの小学校)



(国際NGOオイスカの活動)

《新春明けに開催します》



2015.1/17(土) 13:30(開場 13:00)
明石市生涯学習センター 子午線ホール
(アスパシア明石北館9F)

阪神淡路大震災20回目の記念日にあたる1月17日に、一芸に秀でた明石のキッズのがんばっているところを観てもらおうと企画したこのフェスティバル、ピアノ、能の仕舞い、落語、ギター、ヨーヨー、ダンス、演劇などのジャンルから出演者が決まりました。実力派の演技をお楽しみください。無料